



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月4日

上場会社名 丸大食品株式会社

上場取引所 東

コード番号 2288 URL <https://www.marudai.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 森本 芳史

TEL 072-661-2518

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	56,263	3.3	974		1,054		976	
2023年3月期第1四半期	54,483	1.5	35		21	92.9	55	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,018百万円 (%) 2023年3月期第1四半期 381百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	39.03	
2023年3月期第1四半期	2.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	132,953	70,528	52.5	2,790.68
2023年3月期	126,261	69,014	54.1	2,731.03

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 69,824百万円 2023年3月期 68,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				20.00	20.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	113,000	2.2	1,000		1,200		800		31.97
通期	227,000	2.3	1,500		1,900		900		35.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	26,505,581 株	2023年3月期	26,505,581 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,485,044 株	2023年3月期	1,485,025 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	25,020,539 株	2023年3月期1Q	25,196,675 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、人流が活発化するなど、経済の正常化が徐々に進んだことや雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかに回復の動きが見られました。しかしながら、世界的な金融引締め等が続くなか、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなるほか、物価上昇や金融資本市場の変動など、景気の先行きは予断を許さない状況となっております。

当業界におきましては、外食需要に回復の動きが見られるものの、原材料費やエネルギーコスト、物流コストなどの上昇を背景に、食料品や日用品をはじめとする生活必需品の相次ぐ値上げなどから、消費者の節約志向が一層強まるなど、厳しい環境が続いております。食肉相場におきましては、国産牛肉は出荷量が増加するなか、需要が減少したことなどにより、前年を下回って推移しておりますが、米国産牛肉は生産量の減少により前年を大きく上回って推移しております。また、国産豚肉は、牛肉からの需要シフトなどの影響から前年を大きく上回って推移する一方で、輸入豚肉は、前年を下回って推移しているものの、飼料高とエネルギー高から生産量が減少し、上昇傾向にあります。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、企業活動を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比3.3%増の562億63百万円、営業利益は9億74百万円（前年同期は営業損失35百万円）、経常利益は10億54百万円（前年同期は経常利益21百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億76百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失55百万円）となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高 (注)			セグメント利益又は損失 (△)		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	35,986	37,306	1,319 (3.7%)	△103	699	802 (-)
食肉事業	18,458	18,927	469 (2.5%)	53	266	213 (401.6%)
その他	38	30	△8 (△22.3%)	14	8	△5 (△41.2%)
合計	54,483	56,263	1,780 (3.3%)	△35	974	1,010 (-)

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	15,266	15,509	242 (1.6%)
調理加工食品	20,719	21,796	1,077 (5.2%)

① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、主力商品の「燻製屋」シリーズは、「燻製屋 金コース 黒コースプレゼントキャンペーン」などの販促活動や、定番のスモーク、ホワイトタイプに加え、他社とのコラボ商品として「燻製屋Q・B・B チーズ入り」を数量限定で発売するなど、売上拡大を図りました。また、環境に配慮したパッケージ資材を導入した「いつも新鮮コースハム」や「たっぷり使えるベーコン」などの商品を対象に「ecoですこやか食生活キャンペーン」を展開し、エコ包材の認知度向上と拡販に努めました。以上のことから、当部門の売上高は前年同期比1.6%の増収となりました。

調理加工食品部門では、大人気の韓国料理「スンドゥブ」シリーズは、「やみつき辛活！キャンペーン」などの販促活動を実施し好評をいただきましたほか、「サラダチキン」シリーズは、消費者の健康志向のニーズに合致し売上高を伸ばしました。また、コンビニエンスストア向け米飯商品や、ホイップ済みクリーム等のデザート類の売上高が堅調に推移したことなどから、当部門の売上高は前年同期比5.2%の増収となりました。

以上の結果、加工食品事業の売上高は前年同期比3.7%増の373億6百万円となりました。セグメント利益は、売上高の増収に加え、合理化などのコスト削減に努めた結果、6億99百万円（前年同期は1億3百万円の損失）となりました。

② 食肉事業

牛肉につきましては、消費者の節約志向の高まりから量販店向け販売は伸び悩みましたが、外食産業向けの需要が順調に回復したことなどから、牛肉全体の売上高は前年を確保しました。豚肉につきましては、外食産業向けの需要回復に加え、輸入豚肉の量販店向け販売に注力したことなどから、国産、輸入ともに、売上高は前年を上回りました。

以上の結果、食肉事業の売上高は前年同期比2.5%増の189億27百万円となりました。セグメント利益は、前年同期比401.6%増の2億66百万円となりました。

③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比22.3%減の30百万円、セグメント利益は前年同期比41.2%減の8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	126,261	132,953	6,692
負債	57,246	62,424	5,178
純資産	69,014	70,528	1,513
自己資本比率	54.1%	52.5%	△1.6%

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が19億30百万円、現金及び預金が14億57百万円、原材料及び貯蔵品が14億39百万円、投資有価証券が14億32百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ66億92百万円増加し、1,329億53百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が21億93百万円、有利子負債が17億31百万円、賞与引当金が5億27百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ51億78百万円増加し、624億24百万円となりました。

純資産は、剰余金5億円の配当などがありましたが、その他有価証券評価差額金9億97百万円の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益9億76百万円の計上などから、前連結会計年度末に比べ15億13百万円増加し、705億28百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から1.6%低下し、52.5%となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	490	1,959	1,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,394	△1,704	△309
財務活動によるキャッシュ・フロー	757	1,201	444
現金及び現金同等物の増減額	△146	1,457	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,844	8,373	529

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の増加による減少要因がありましたが、減価償却費の計上や税金等調整前四半期純利益の計上などから、19億59百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、17億4百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いによる支出がありましたが、有利子負債の増加などから、12億1百万円増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末から14億57百万円増加し、83億73百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、2023年7月31日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した見通しから変更はありません。

なお、2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、前回公表(2023年5月12日)の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,916	8,373
受取手形及び売掛金	23,897	25,827
商品及び製品	12,370	12,796
仕掛品	509	547
原材料及び貯蔵品	6,351	7,790
その他	1,385	1,429
貸倒引当金	△14	△12
流動資産合計	51,416	56,752
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,370	63,543
減価償却累計額	△46,038	△46,331
建物及び構築物 (純額)	17,332	17,212
機械装置及び運搬具	74,993	76,063
減価償却累計額	△59,653	△60,540
機械装置及び運搬具 (純額)	15,340	15,523
工具、器具及び備品	4,720	4,442
減価償却累計額	△3,432	△3,152
工具、器具及び備品 (純額)	1,288	1,289
土地	18,346	18,138
リース資産	9,122	9,116
減価償却累計額	△4,596	△4,775
リース資産 (純額)	4,526	4,341
建設仮勘定	486	499
有形固定資産合計	57,319	57,005
無形固定資産		
投資その他の資産	1,573	1,383
投資有価証券	11,438	12,871
関係会社株式	262	286
長期貸付金	19	18
退職給付に係る資産	1,861	1,930
繰延税金資産	317	393
その他	2,172	2,443
貸倒引当金	△120	△132
投資その他の資産合計	15,951	17,812
固定資産合計	74,844	76,200
資産合計	126,261	132,953

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,754	22,947
短期借入金	9,858	11,964
1年内返済予定の長期借入金	2,917	2,876
リース債務	1,024	1,005
未払金	6,714	6,820
未払法人税等	215	330
未払消費税等	299	297
賞与引当金	781	1,309
構造改革引当金	178	178
その他	1,320	1,624
流動負債合計	44,063	49,354
固定負債		
長期借入金	5,255	5,112
リース債務	3,735	3,564
繰延税金負債	1,961	2,169
退職給付に係る負債	1,467	1,469
構造改革引当金	144	144
その他	620	610
固定負債合計	13,183	13,070
負債合計	57,246	62,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,086	22,086
利益剰余金	38,388	38,864
自己株式	△3,342	△3,342
株主資本合計	63,848	64,324
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,952	5,949
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	56	64
退職給付に係る調整累計額	△526	△516
その他の包括利益累計額合計	4,483	5,499
非支配株主持分	682	704
純資産合計	69,014	70,528
負債純資産合計	126,261	132,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	54,483	56,263
売上原価	46,815	47,690
売上総利益	7,668	8,573
販売費及び一般管理費	7,704	7,599
営業利益又は営業損失(△)	△35	974
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	3	9
不動産賃貸料	37	35
その他	82	117
営業外収益合計	127	165
営業外費用		
支払利息	55	58
その他	14	27
営業外費用合計	70	86
経常利益	21	1,054
特別利益		
固定資産処分益	4	0
特別利益合計	4	0
特別損失		
固定資産処分損	19	19
特別損失合計	19	19
税金等調整前四半期純利益	6	1,035
法人税、住民税及び事業税	145	328
法人税等調整額	△96	△294
法人税等合計	48	33
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△41	1,001
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	25
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△55	976

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△41	1,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△388	997
繰延ヘッジ損益	14	0
退職給付に係る調整額	17	10
持分法適用会社に対する持分相当額	15	8
その他の包括利益合計	△340	1,016
四半期包括利益	△381	2,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△396	1,992
非支配株主に係る四半期包括利益	14	25

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6	1,035
減価償却費	1,864	1,734
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	9
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△72	△52
受取利息及び受取配当金	△7	△13
支払利息	55	58
固定資産処分損益 (△は益)	14	18
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,443	△1,941
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,733	△1,904
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,218	2,193
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△8	△2
その他	632	982
小計	512	2,117
利息及び配当金の受取額	187	168
利息の支払額	△44	△44
法人税等の支払額	△144	△247
特別退職金の支払額	△19	△34
営業活動によるキャッシュ・フロー	490	1,959
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△11	△11
固定資産の取得による支出	△1,435	△1,684
固定資産の売却による収入	53	0
その他	△1	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,394	△1,704
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,960	2,106
長期借入金の返済による支出	△222	△184
リース債務の返済による支出	△265	△243
配当金の支払額	△711	△471
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	757	1,201
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△146	1,457
現金及び現金同等物の期首残高	7,990	6,916
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,844	8,373

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	15,266	—	15,266	—	15,266	—	15,266
調理加工食品	20,719	—	20,719	—	20,719	—	20,719
食肉事業	—	18,458	18,458	—	18,458	—	18,458
その他	—	—	—	38	38	—	38
顧客との契約から 生じる収益	35,986	18,458	54,444	38	54,483	—	54,483
外部顧客への売上高	35,986	18,458	54,444	38	54,483	—	54,483
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	201	201	△201	—
計	35,986	18,458	54,444	240	54,684	△201	54,483
セグメント利益又は損失 (△)	△103	53	△50	14	△35	—	△35

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	15,509	—	15,509	—	15,509	—	15,509
調理加工食品	21,796	—	21,796	—	21,796	—	21,796
食肉事業	—	18,927	18,927	—	18,927	—	18,927
その他	—	—	—	30	30	—	30
顧客との契約から 生じる収益	37,306	18,927	56,233	30	56,263	—	56,263
外部顧客への売上高	37,306	18,927	56,233	30	56,263	—	56,263
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	194	194	△194	—
計	37,306	18,927	56,233	224	56,458	△194	56,263
セグメント利益	699	266	965	8	974	—	974

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおりません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。